第22回日本薬物動態学会ワークショッププログラム

第一日目:4月17日(木)

8:55~9:00 はじめに

須藤賢一(第一三共株式会社)

基調講演

座長:諏訪 俊男(慶応義塾大学薬学部)

9:00~9:40 撤退薬の諸相

津谷 喜一郎(東京大学大学院)

テーマ1 ヒト代謝物の安全性評価への取り組み

座長: 布施英一(協和発酵工業株式会社) 森脇俊哉(武田薬品工業株式会社)

9:50~10:30 代謝物安全性評価の現状と将来

笛木 修(医薬品医療機器総合機構)

10:30~10:40 休憩

10:40~11:20 代謝物の安全性評価について:開発する立場から

内藤 真策(製薬協基礎研/株式会社大塚製薬工場)

11:20~12:00 FDA's recommendations for determining metabolite pharmacokinetics in

clinical bioavailability and bioequivalence studies

Barbara Davit (FDA)

12:00~13:30 昼食

テーマ 2 ヒト毒性発現プロセス解明への挑戦

(毒性評価モデル)

座長:岡崎 治(第一三共株式会社) 堀江透(ディスリー研究所)

13:30~14:10 反応性代謝物を考慮した肝障害性予測試験系

横井 毅(金沢大学大学院)

14:10~14:50 創薬段階におけるトキシコゲノミクスの活用

沢田 啓(武田薬品工業株式会社)

14:50~15:00 休憩

15:00~15:40 特異体質性肝障害へのアプローチ;

非臨床におけるin vivoモデルを用いた取り組みおよび今後の展望

西矢 剛淑(第一三共株式会社)

15:40~16:20 薬剤性 QT 延長症候群のバイオマーカーと PK/PD

山本 恵司(武田薬品工業株式会社)

17:00~19:00懇親会

第二日目:4月18日(金)

基調講演

座長:吉田 武美(昭和大学大学院)

9:00~9:40 生体防御酵素群の発現誘導の分子機構

山本 雅之(東北大学大学院)

テーマ3 トランスポーターおよび CYP に起因する副作用予測への挑戦

(トランスポータ研究)

座長:泉 高司(第一三共株式会社) 須藤 賢一(第一三共株式会社)

9:50~10:30 薬物による光毒性の新しいスクリーニング:ABCG2 の遺伝子多型と薬物阻害 田村 藍・石川 智久(東京工業大学大学院)

10:30~11:10 トランスポーターの発現による薬剤感受性の変動

楠原 洋之(東京大学大学院)

11:10~11:20 休憩

(製薬各社の MBI 評価)

座長:石川 智久(東京工業大学大学院) 久米 俊行(田辺三菱製薬株式会社)

11:20~11:45 Risk assessment of DDI caused by MBI of CYP3A in the early drug discovery stage

渡邉 亜紀子(第一三共株式会社)

 $11:45\sim12:10$ The importance of characterization of time-dependent inactivation for CYPs on drug discovery stage

東田 敦子(中外製薬株式会社)

mechanism-based inactivation

津田 実(田辺三菱製薬株式会社)

12:35~13:00 探索段階における metabolism-based inactivation 評価法

永田 吉範(協和発酵工業株式会社)

13:00~14:30 昼食

基調講演

座長:東 純一(大阪大学大学院)

14:30~15:10 薬物性肝障害の診断と最近の傾向 滝川 一(帝京大学医学部)

テーマ4 ヒト反応性代謝物と特異体質性薬物反応

(製薬各社の特異体質性薬物毒性予測)

座長:池田 敏彦(医薬品支援開発機構) 永山 績夫(大鵬薬品工業株式会社)

15: 20 ~ 16: 00 Reactive Metabolite Assessment in Drug Discovery and Early Development as Integral Part of Drug Safety

Axel Pähler (F. Hoffmann-La Roche Ltd.,)

16:00~16:10 休憩

16:10~16:50 特異体質的薬剤毒性のリスク評価

高草 英生(第一三共株式会社)

16:50~17:30 創薬段階における反応性代謝物の定量/定性評価法

井上 和子(万有製薬株式会社)

17:30~17:35 おわりに

須藤賢一(第一三共株式会社)